

平成30年度進捗評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更平成30年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1	歴史的風致の維持及び向上に向けた連携 並びに推進体制	1
---	-------------------------------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1	長野市景観計画との連携	2
2	長野市屋外広告物条例との連携	3
3	長野市伝統環境保存条例との連携	4
4	長野市伝統的建造物群保存地区 保存条例との連携	5

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1	無形文化財支援事業	6
2	歴史的資源活用コーディネーター派遣 事業	7
3	伝統芸能継承事業	8
4	空き家バンク事業	9
5	善光寺周辺地域道路美装化事業	10
6	善光寺周辺地域電線類地中化事業	11
7	善光寺表参道地域交流拠点整備事業	12
8	戸隠地域建造物修理修景助成事業	13
9	戸隠地域道路美装化電柱電線類移設・ 歩道整備事業	14
10	景観重要建造物修理助成事業(戸隠 地域)	15
11	弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	16
12	戸隠茅場整備事業	17
13	戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画 策定調査事業	18
14	戸隠地域耐震性貯水槽整備事業	19
15	城山公園再整備事業	20
16	松代地域道路美装化事業	21
17	伝統環境保存事業	22
18	旧横田家住宅保存整備事業	23
19	旧文武学校保存整備事業	24
20	松代町文化財保存活用推進事業	25
21	旧松代駅舎保存活用事業	26
22	松代城東側駐車場整備事業	27
23	北国街道松代道周辺文化財等周遊道 路整備事業	28
24	史跡大室古墳群保存整備事業	29
25	旧信濃川田駅保存活用事業	30

26	松代歴史文化の発信・誘客事業	31
27	県宝大英寺本堂保存修理事業	32
28	川田宿PR活用事業	33
29	史跡松代城跡保存整備事業	34
30	県宝林正寺本堂保存修理事業	35
31	大室古墳群アクセス道路整備事業	36
32	「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存 ・公開活用事業	37
33	鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業	38
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)			
1	文化財の保存(文化財調査・指定、保存 管理(活用)計画等)について	39
2	文化財の保存整備(修理、修景、復元等) について	40
3	文化財の防災に関する取り組みについて	41
4	文化財の周辺環境の整備について	42
5	文化財の保存及び活用の普及、啓発に ついて	43
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)			
1	松代を発信あんずまつり10年目の春 ほか	44
⑥その他(効果等)(様式1-6)			
1	善光寺仁王門前の歩行者通行量の増加	46
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)			47

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

①地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第11条に基づき、有識者等で構成される「**長野市歴史的風致維持向上協議会**」を計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して様々な提案・意見等を得ることとする。

②歴史的風致の維持及び向上を目的とした**庁内全体の連携体制を構築するために**、関係各課の担当者によって構成される「**歴史まちづくり推進会議**」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①「**長野市歴史的風致維持向上協議会**」を2回開催し、計画事業の進行管理・評価及び計画変更案などについて協議し、計画内容、実施内容に対して幅広く意見をいただいた。

②計画事業の**関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」**を2回開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び事業実施に向けて解消すべき課題を共有し、**庁内全体の連携体制を強化することができた。**

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- ①長野市歴史的風致維持向上協議会の開催
- 第1回 平成30年7月26日(木)
- 議題 (1) 歴史的風致活用国際観光支援事業について
(2) 平成30年度の計画事業について
(3) 計画の進行管理・評価の実施について
- 第2回 平成31年2月19日(火)
- 議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
(2) 計画の変更について
(3) その他



第1回 長野市歴史的風致維持向上協議会(H30.7.26)

- ①歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催
- 第1回 平成30年6月13日(水)
- 議題 (1) 計画の概要について
(2) 計画の課題について
(3) 今年度の事業計画について
(4) 計画に係る国の支援事業について
(5) 第1回協議会の開催について
- 第2回 平成31年1月29日(火)
- 議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
(2) 計画の変更について
(3) その他



第1回 歴史まちづくり推進会議(庁内会議)(H30.6.13)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
長野市景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

<重点区域>
 ○善光寺周辺
 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。
 ○戸隠
 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。
 ○松代
 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当部局との連携協議を2回実施し、長野市景観計画の改定に併せて景観計画に歴まち計画について記載されることとなった。
 また、平成19年に策定した「長野市景観計画」(H30.10改定)に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について誘導している。
 重点区域内における景観計画に基づく行為の届出件数 平成30年度実績:なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

景観計画担当部局と連携協議を実施
 第1回 平成30年10月12日(金)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 長野市景観計画について
 第2回 平成31年1月18日(金)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 長野市景観計画の改定について



景観計画担当部局と連携協議
第1回(H30.10.12)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
長野市屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

〈重点区域〉
 ○善光寺周辺
 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

○戸隠
 広範囲にわたって妙高戸隠連山国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。

○松代
 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当部局との連携協議を2回実施し、歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。
 また、平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて届出義務を課し、誘導している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

屋外広告物担当部局と連携協議を実施
 第1回 平成30年10月12日(金)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 戸隠地区における関連計画について

第2回 平成31年1月18日(金)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 松代地区における取り組みについて



屋外広告物担当部局と連携協議
 第1回(H30.10.12)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
長野市伝統環境保存条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

松代城下町の歴史的かつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存区域として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存区域の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全が図られた。補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にもつながっている。

○平成30年度実績

届出件数: 8件(新築7件、解体1件)

補助件数: 2件(屋根修理1件、塀新築1件)(評価軸③-17)

進捗状況 ※計画年次との対応

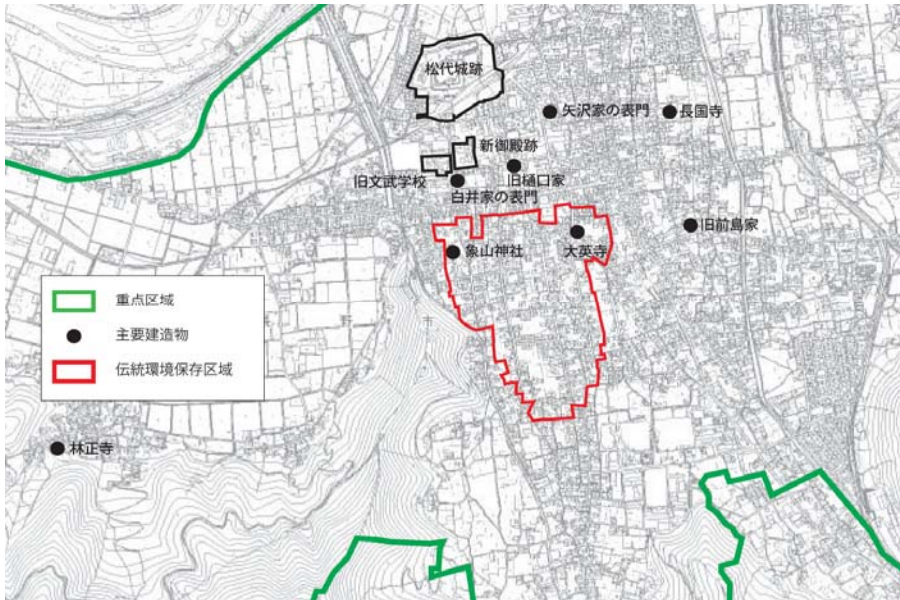
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域: 約29ha



評価軸②-4
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
長野市伝統的建造物群保存地区保存条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

長野市内の伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、平成28年4月に「長野市伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定した。
 さらに、平成28年8月には条例に基づき、戸隠中社・宝光社地区の一部を長野市戸隠伝統的建造物群保存地区に決定し、同保存地区の保存に関する計画(保存計画)を策定した。保存計画では、伝統的建造物である宿坊や農家の主屋等の建築物や石垣等の工作物と共に、生垣や庭園、水路等を環境物件として特定し、保存のために行う措置を具体的に示している。
 保存地区内で建造物の新築や増改築など、現状変更を行う場合には、事前に教育委員会の許可が必要であり、これにより、戸隠神社門前の良好な景観形成、歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

現状変更に対して事前に内容を確認し、必要に応じて協議を行うことで、戸隠神社門前の良好な景観形成が図られた。
 また、保存地区内における建造物を保存するため、所有者が行う修理費に対し補助することで、保存地区内の良好な景観形成が図られた。
 ○平成30年度実績
 許可申請件数:12件(平成30年12月17日現在)
 補助件数:4件(建築物4件)(評価軸③-8)

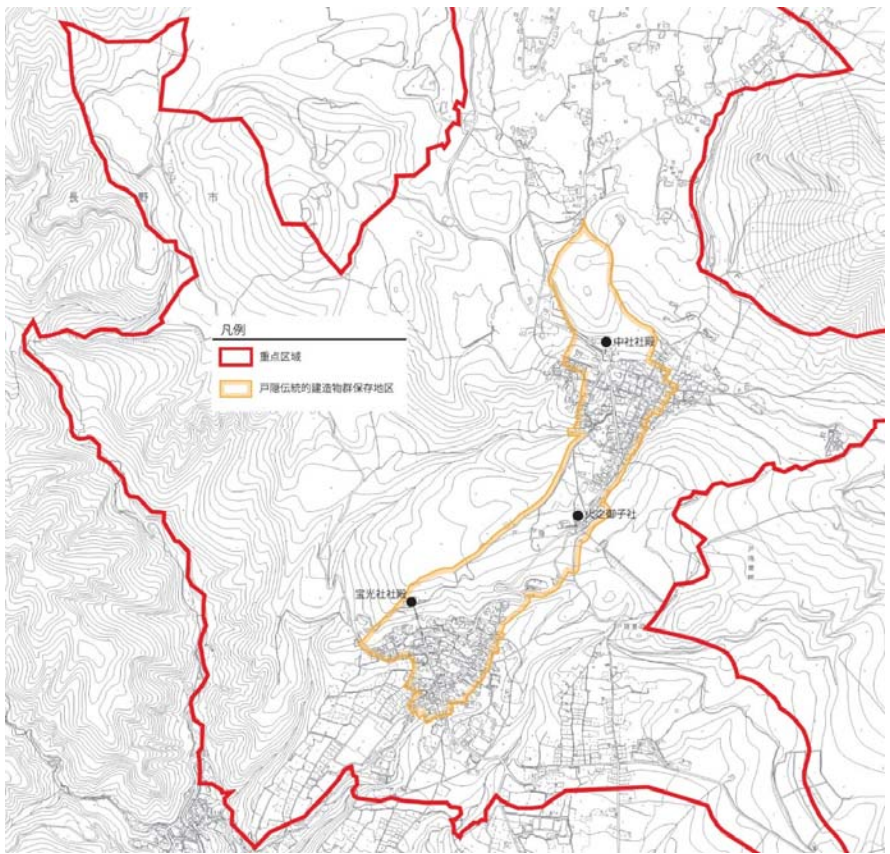
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠伝統的建造物群保存地区:約73.3ha



評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
無形文化財支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要があるため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財伝承者の養成、若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場の積極的な提供、公開活動に対する支援等を行うため、無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成した。
○平成30年度実績:無形文化財補助金 3件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

支援先の概要

(善光寺・戸隠地区)

- ① 宣澄(せんちょう)踊り保存会 宣澄社および宣澄生誕地で宣澄踊りを奉納。



踊り奉納の様子

※事業実施中で実績報告書が未提出のため、写真はH29年度のもので、実績報告書が提出されましたら差替えます。

(松代・若穂川田地区)

- ① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会 地元小学生を対象とする育成活動が行われ、保存継承を推進。



演奏会の様子

- ② 大門踊(おおもんおどり)保存会 地元小学生を対象とする育成活動、一般公開を実施。



松代城前における踊り披露の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
歴史的資源活用コーディネーター派遣事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・戸隠伝統的建造物群保存地区内の住民を対象に生垣の整備方法を学ぶため、専門家1人を派遣し、現地で講習を行った。
 ・松代地区の住民を対象に、国の登録文化財を活かした松代のまちづくりを考えるため、専門家を1人派遣し、意見交換を行った。
 ・鬼無里地区の住民を対象に、鬼無里神社の屋台の修理方法を提案するため、専門家を1人派遣し、意見交換を行った。
 その結果、戸隠地区、松代地区及び鬼無里地区における歴史まちづくりの取り組みに対する住民の理解が深まった。
 ○平成30年度実績:コーディネーター派遣人数 3人

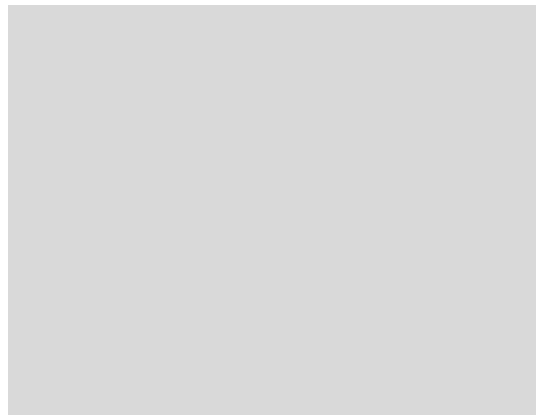
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



生垣の整備方法について専門家の意見を聴く様子
(H30.6.19)



鬼無里神社の屋台の今後について意見交換する様子
(H31.●.●)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
伝統芸能継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 祖先の優れた文化活動の所産であり、長い年月の間に大切に守られてきた郷土の伝統芸能を保存・継承するため、その技術を後世に継承する団体に対し、用具の修理・更新、子供用具の購入、外部講師謝礼、体験教室の開催費用、指導用DVDの作成等に必要な経費の一部について、助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・伝統芸能継承事業補助金(補助率2/3、上限100千円) 内示35団体、2,985千円
- ・ながの獅子舞フェスティバル(5月3日) 参加73団体、1,119名
- ・伝統芸能実態調査 回答240団体

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

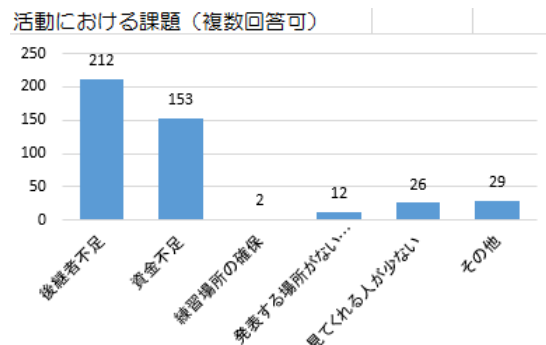
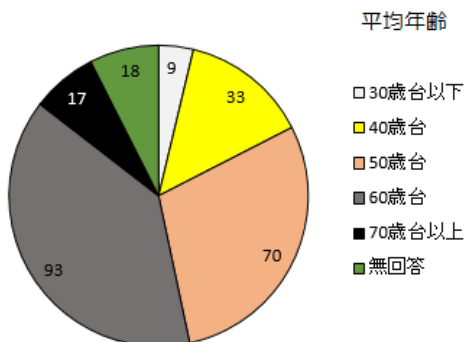
状況を示す写真や資料等



伝統芸能継承事業補助金



ながの獅子舞フェスティバル



伝統芸能実態調査(抜粋)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
空き家バンク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 空き家となっている歴史的建造物などの利活用可能な建物のうち、売却・賃貸を希望している所有者の物件を登録し、空き家情報としてホームページ等を通して広く情報提供を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家バンク登録件数:3件(松代2件、鬼無里1件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



空き家バンク制度(イメージ)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
善光寺周辺地域道路美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成15年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北96号線、長野北236号線

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

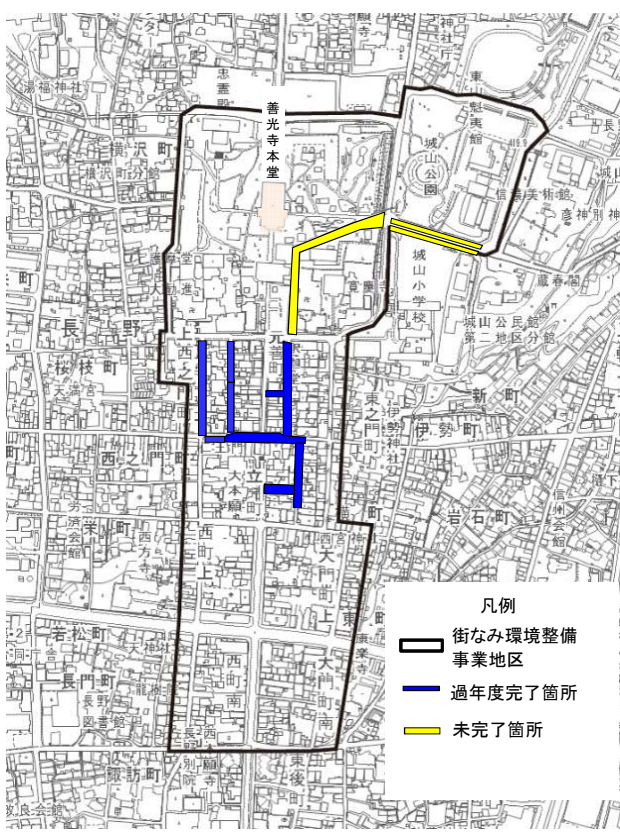
善光寺周辺地域における門前の良好な景観形成を推進するため、御幸坂通りの道路美装化実施に向けた実施設計に着手した。また、善光寺事務局との協議を3回実施した。

※道路美装化総延長(計画期間累計) 実施済みL=725m/計画延長L=1,094m(進捗率66.3%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



道路美装化位置図

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
善光寺周辺地域電線類地中化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、**仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。**
釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り、御幸坂通り、長野北122号線

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

御幸坂通りおよび長野北122号線の電線類地中化実施に向け、関係機関との協議を実施し整備計画書作成した。また、電線類地中化工事に着手した。

○平成30年度実績

長野北98号線(御幸坂通り)整備計画書作成

長野北98号線(御幸坂通り)電線類地中化工事(L=135m)に着手

※電線類地中化総延長(計画期間累計) **実施済みL=540m/計画延長L=940m(進捗率57.4%)**

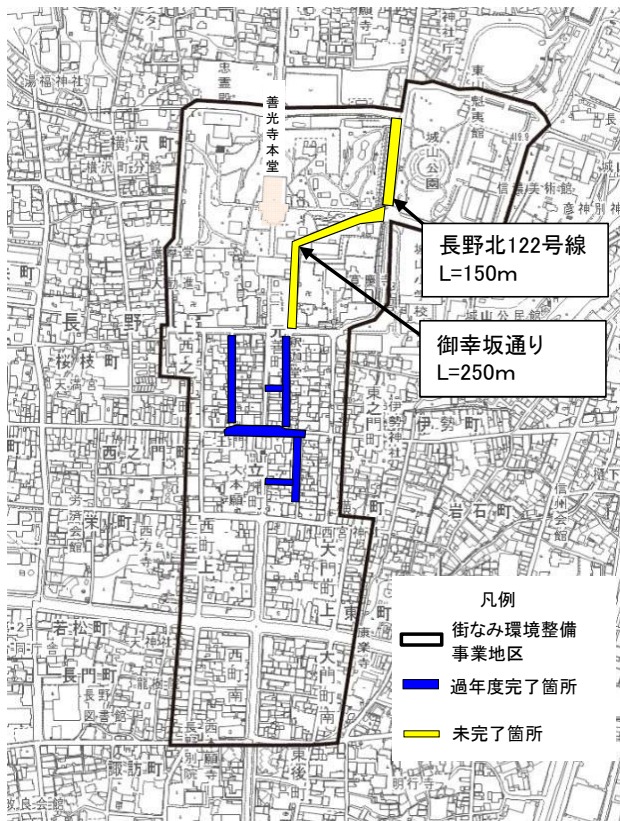
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



電線類地中化位置図



占有者との協議(H30.12.27)

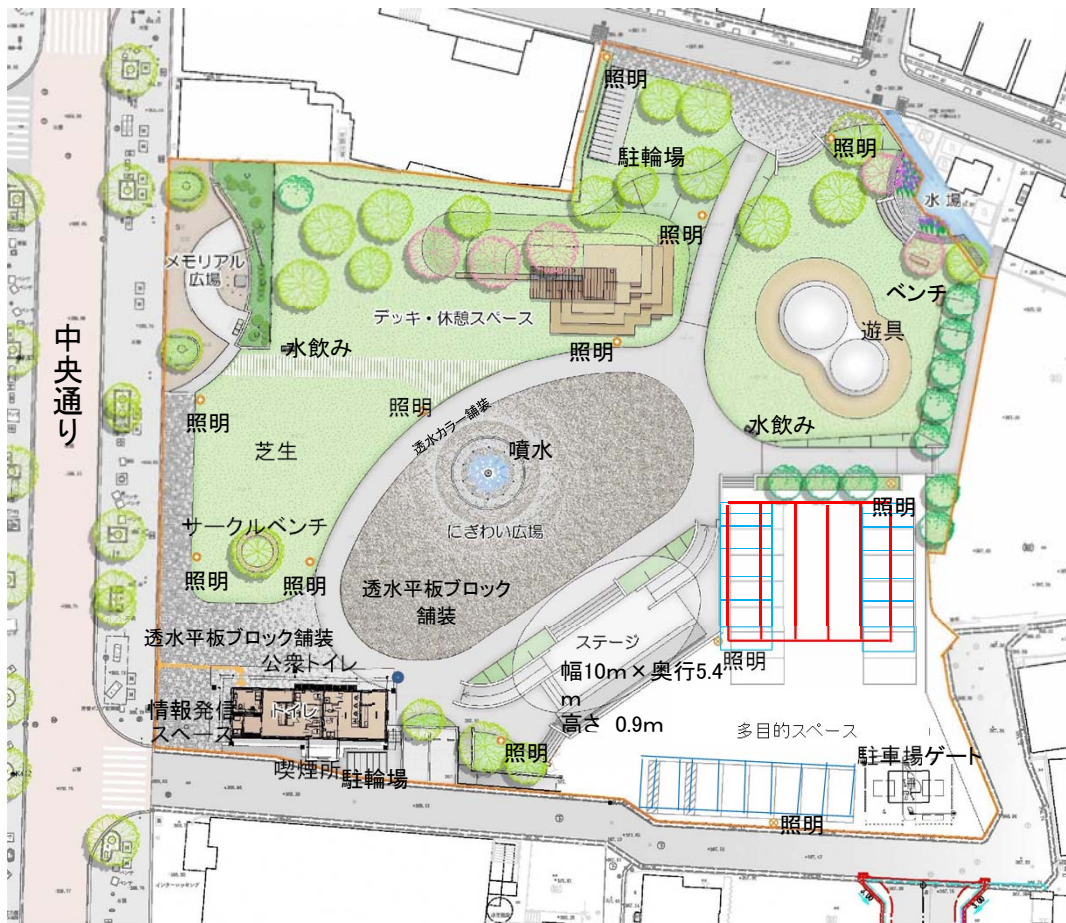


占有者との協議(H31.1.10)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
善光寺表参道地域交流拠点整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成32年度		
支援事業名	善光寺表参道地区都市再生整備計画		
計画に記載している内容	善光寺表参道に面し、長野冬季オリンピック表彰式会場であったセントラルスクウェアの場所に、地元住民や来訪者のための地域交流拠点として、緑豊かな公園や表参道の歴史等の情報発信ができるスペースを整備する。また、観光バスの駐車できる駐車場を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
広場を拠点とし、中央通りと一体となったイベント空間の創出と緑と憩いの場の提供に向け、広場整備工事に着手した。 ○平成30年度実績：民有地である事業予定地の用地賃貸借 トイレ及びステージ設計、既存施設撤去及びトイレ建築工事等			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



整備イメージ図

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
戸隠地域建造物修理修景助成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成29年度～平成34年度		
支援事業名	国宝重要文化財保存・活用事業費補助金 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	長野市戸隠伝統的建造物群保存地区を主とする中社・宝光社地区において、宿坊や民家等の所有者が、保存計画に定められた基準に基づき建造物等の修理及び修景を行う場合、または、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建造物の修景を行う場合に、経費の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
長野市戸隠伝統的建造物群保存地区において歴史的町並みを構成する建造物の修理・修景事業に対して費用の助成を行った。 事業に際しては、文化庁及び長野市伝統的建造物群保存地区保存審議会の指導・助言を受け、実施した。 ○平成30年度事業実績:修理4件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

横倉家(旧十輪院)主屋



修理前



修理後

塚田家(白金家)主屋

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
戸隠地域道路美化・電柱電線類移設・歩道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区門前の歴史的まちなみが広がる一部の路線について、道路美化、電柱電線類移設、歩道整備等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

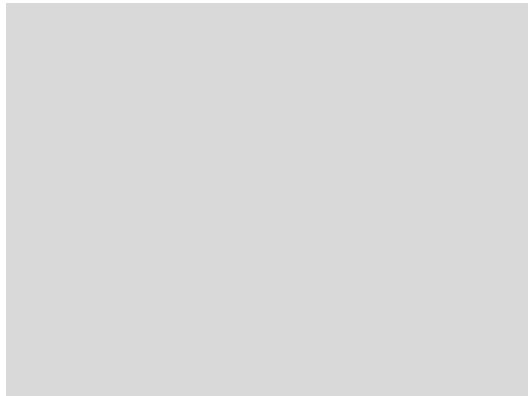
来訪者に対して地区内の見所や地区の魅力について、地区住民及び関係課と意見交換を行い、来訪者に歩いて欲しい路線を整理し、整備路線を検討した。また、先進地を視察し、地区に相応しい路面の仕上げ等を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地区住民との意見交換の様子

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 **景観重要建造物**に指定された**宿坊極意(中社)**と**越志旅館(宝光社)**について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に**要する経費の一部**について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宿坊極意の茅葺屋根の部分修理費の一部を助成し、戸隠地区における歴史的建造物の保全を図った。
 ○平成30年度実績: **景観重要建造物修理助成 実績1件** / 当初計画1件 ※**事業完了**

進捗状況 ※計画年次との対応

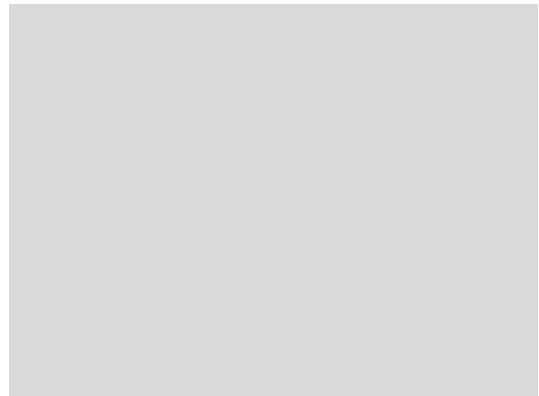
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前



修理後

宿坊極意(中社地区)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 **弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ながの祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、今年度で7年目を迎えた。祭りに参加する屋台を一定数確保し、祭礼の定着と発展を図るため、**屋台の組み立て、解体及び修繕の費用の一部を助成した。**

○平成30年度実績

祭礼屋台事業補助金:8件(屋台6台の組み立て及び解体費用の一部を助成、このうち2台の屋台補修費用の一部を助成)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



ながの祇園祭における屋台巡行の様子(H30.7.8)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
戸隠茅場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 **戸隠中社・宝光社地区**の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場**中社ゲレンデ**を茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、**毎年、定期的に茅刈りを行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、**戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会**により茅刈りが行われ、地元住民が参加し、**伝統技術の継承が図られた。**11月6日の茅刈りイベントは、雨のため中止となったが、11月6～13日は茅刈り週間とし、継続的に行った。

○平成30年度実績: **延べ参加者 35人**

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
 茅刈り週間 H30.11.6～13: 延べ参加者35人、約500束を刈り取り



茅刈りの様子



茅の保管状況

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
戸隠伝統的建造物群保存地区防災計画策定調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成30年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 **戸隠伝統的建造物群保存地区内において、住民の生命及び財産を災害から保護し、歴史的な町並みを活かしたまちづくりを推進するため、保存地区に相応しい防災計画を策定するための調査を実施する。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度から引き続いて保存地区内の**消防設備の現状調査を実施するとともに、伝統的建造物の建物調査及び耐震性能調査を行った。**

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

専門家の意見に基づき一部調査を追加する必要性が生じたため、計画期間を平成31年度に延長する。

状況を示す写真や資料等



建造物の耐震性能調査(人力加振実験)



保存地区内の消火栓水圧調査

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
戸隠地域耐震性貯水槽整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の景観の核となる景観重要建造物や、歴史的風致を形成する建造物が多く残る戸隠中社・宝光社地区の防災対策として、耐震性貯水槽(防火水槽)を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠中社地区に耐震性貯水槽(防火水槽)を整備し、防災体制を強化した。
 また、工事途中に地区住民を対象に現場見学会を開催し、防災意識の向上が図られた。(評価軸④-5)
 ○平成30実績:耐震性貯水槽(防火水槽)40tを1基設置 ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後



基礎コンクリート打設状況



耐震性貯水槽設置状況

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
城山公園再整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成32年度

支援事業名 都市再生整備事業

計画に記載している内容 善光寺に隣接する立地条件を活かし、**一体的な歴史的景観を形成するとともに、バリアフリーにも配慮して善光寺周辺地域の回遊性の向上に寄与するよう、魅力ある公園として再整備し、美術館とともに「信州の魅力を発信する文化・観光の一大拠点」を創出する。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

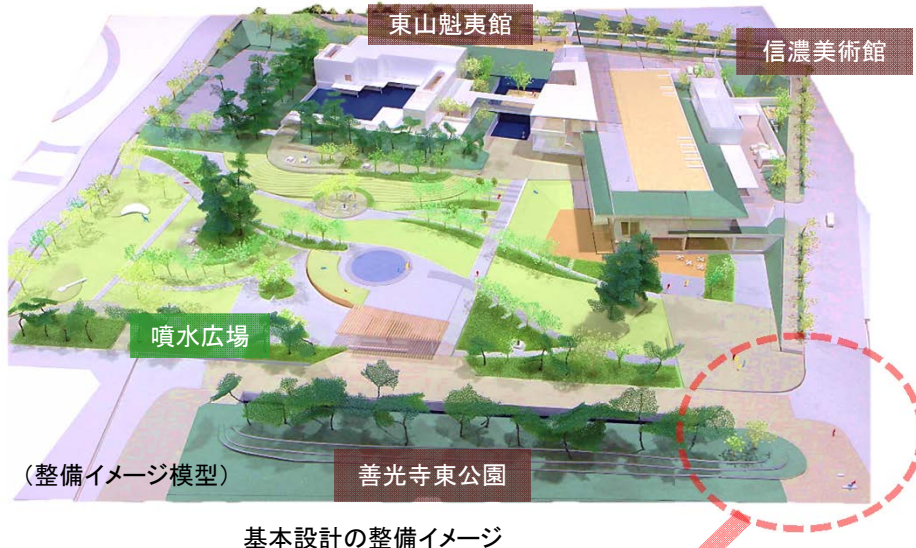
信濃美術館と一体的に整備する城山公園噴水広場については、**工事発注の準備を進めている。**
 また、善光寺との回遊性向上に向けた**交差点改良計画については、実施設計を進めており、来年度から一部工事に着手する。** 2021年4月の善光寺御開帳に合わせたりニューアルオープンを目指す。
 ○平成30年度実績:設計(公園・交差点実施設計)面積1.5ha、工事(既存施設解体、雨水貯留施設等)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



基本設計の整備イメージ

善光寺東参道と公園・美術館との交差点の整備イメージ



	2017	2018	2019	2020	2021	
県立 信濃美術館	設計	工事			完成	善光寺御開帳
城山公園 (公園整備)	設計	工事				
	基本設計・実施設計	実施設計・噴水 地下貯留施設	広場・修景施設 園路	園路・植栽		
市道整備		設計	工事			
		実施設計	交差点改良 水路暗渠化	道路美装化		

整備スケジュール

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
伝統環境保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、**伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観形成に寄与している物件の修理・修景事業に対する助成を行った。
 修理にあたっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。
 ○平成30年度実績:修理・修景助成2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



審議委員による現地視察(長谷川家主屋)



審議委員による現地視察(田中家塀)



審議委員による審議

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
旧横田家住宅保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 江戸時代の中級武家屋敷である**旧横田家住宅**(主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟)は、前回の解体修理工事から20年以上経過し、茅葺屋根や土壁、木部等に劣化が生じていることから、**保存修理を行う。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、地域を代表する文化財の一つである旧横田家の**保存修理工事及び耐震補強工事に向けた実施設計を行った。**

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧横田家住宅(表門)



旧横田家住宅(主屋)



旧横田家住宅(隠居屋)



旧横田家住宅(主屋 北面屋根)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
旧文武学校保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金、歴史的風致活用国際観光支援事業費補助金

計画に記載している内容
 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した**史跡旧文武学校は**、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で**保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行う。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、**文学所・文庫蔵・槍術所以外の建造物について、耐震診断に基づく保存整備工事を実施した。また、藩校体験プログラムに資する展示整備事業の実施設計を実施した。**
 ○平成30年度実績:旧文武学校弓術所外保存整備工事の実施:弓術所、柔術所、剣術所、東序、西序等
藩校体験プログラム開発事業:展示整備事業実施設計の完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

文化庁と協議の結果、平成31年度に完成する工事について整備報告書を刊行することとなったため、計画期間を平成32年度に延長する。

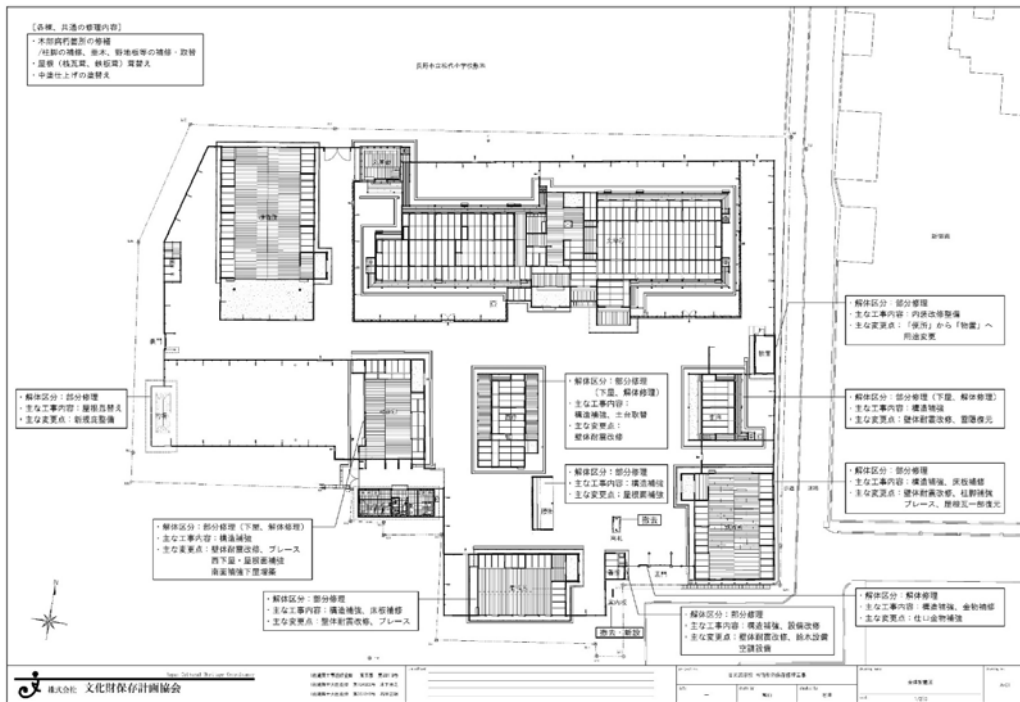
状況を示す写真や資料等



鳥瞰図



西序 揚屋工事状況



工事概要

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
松代町文化財保存活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 多くの文化財施設が集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館の老朽化にともなう施設改修に向けて、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財ボランティアの活動は、年間約延べ5千人の活動を実施し、市民文化活動として定着している。「松代文化財ボランティアの会が選ぶ松代百選」を発行し、文化財や町並み保存の啓蒙活動を行った。また、真田宝物館のホームページの多言語化するとともに、施設間の繋がりを紹介したルートガイド等を充実させ、外国人向けに発信した。さらに、第41回全国町並みゼミを松代町で開催し、「市民主体の活かして保存する」という松代の文化財活用手法を全国にPRした。

進捗状況 ※計画年次との対応

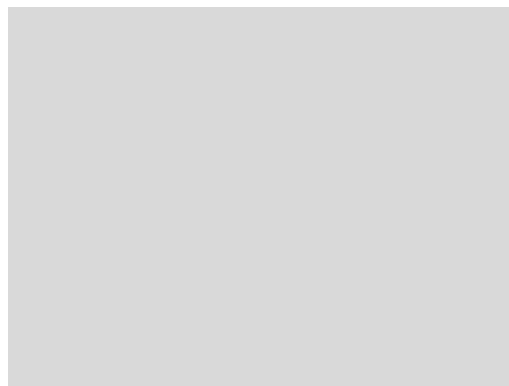
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「全国町並みゼミ」での体験・案内風景 (H30.11.16～18)



多言語に対応したホームページ

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
旧松代駅舎保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡松代城跡に隣接しているため、松代城跡保存整備及び周辺事業の庁内調整会議を4回実施した。また、地元との協議を3回を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業に直接影響する松代城跡の周辺環境整備に係る協議に時間を要しているため、地元及び庁内協議を促進する。

状況を示す写真や資料等



庁内の会議(H30.4.27)



庁内の会議(H30.5.24)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
松代城跡東側駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、**史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

暫定的に観光用駐車場として活用し、中心市街地への自動車流入の制御を図った。また、地元有志によりイベント会場として活用された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業に直接影響する松代城跡の周辺環境整備に係る協議に時間を要しているため、地元及び市内協議を促進する。

状況を示す写真や資料等



観光用駐車場としての利用状況



平成30年度のイベントにおける利用状況
(H30.9.30 地元有志の主催によるイベント)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路構造、整備区間に係る地元協議等を実施した。

○平成30年度実績:自転車道・遊歩道建設工事(L=0.5km)への着手。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

整備方法の変更につき必要な地元説明を行うために時間を要しているが、十分な予算を確保し、継続的、計画的に、工事の進捗を図る。

状況を示す写真や資料等



平成30年度整備予定地

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
史跡大室古墳群保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として利活用できるように整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

整備対象古墳1基(176号墳)の遺構確認調査、保存対策対象古墳2基(177・180号墳)の範囲確認調査を進め、大室古墳群の文化財的価値の向上を図った。また、昨年度着手した整備作業道設置工事を進め、今後古墳保存修理などに必要な作業道の整備を行った。このほか、大室古墳群の中心的ゾーンとして整備途上ではあるが草刈等の環境維持作業を実施し、遠足や社会見学、生涯学習の場として積極的に公開を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



環境維持作業(人手による古墳・見学園路清掃作業)



小学校の遠足・社会科見学(168号墳)



整備作業道設置工事(樹木の伐採・抜根)



整備作業道設置工事(整備作業道路盤盛土)

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
旧信濃川田駅保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の歴史的建造物の一つである旧駅舎の活用について、地元と協議を1回行った。
 地元住民による、駅舎の壁面塗装を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している

計画どおり進捗していない

具体的な方針を定めるための地元等との協議に時間を要しているため、地元及び庁内協議を促進する。

状況を示す写真や資料等



地元住民による駅舎壁面塗装(H30.12.15)

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
松代歴史文化の発信・誘客事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成34年度

支援事業名 平成22年度～平成26年度：社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)平成27年度～：市単独事業

計画に記載している内容 松代の歴史文化を発信し誘客に繋げようとして「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。
散策ツールの製作、まち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等のまち歩き観光の推進とPRIに寄与した。

また、第41回全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会開催のため、地元実行委員会の中核となって同大会の運営に取り組み、町並み保全活動の推進に大きく貢献した。

OH30年度活動実績

まち歩きツアー 18回開催 参加者合計 155名、視察受入 30回開催 参加者合計 686名

松代学講座 6回開催 参加者合計 480名、全国町並みゼミ開催 参加者合計 333名

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



まち歩きセンター外観



まち歩きガイドの実施



全国町並みゼミの開催・運営

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
県宝大英寺本堂保存修理事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～平成30年度		
支援事業名	県補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域における歴史的景観の保全を図るため、県宝大英寺本堂(大蓮院霊屋)および表門の修理に必要な費用の一部を助成した。 ○平成30年度実績:表門こけら葺き復原、本堂天井絵修復、実績報告書刊行 ※事業完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



大英寺本堂



大英寺表門



大英寺本堂 外陣



大英寺本堂 内陣

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目			
川田宿PR活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、**川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

川田宿見学者への**案内ガイド等を実施**し、街道宿場としての歴史を活かしたまちづくり及びPRに取り組んだ。

○平成30年度実績

- ・月例学習会(月第2火曜日) 会の運営や新たな資料収集のほか、PR方法のなどについて検討した。
- ・ガイド案内 3回(7/11・8/22・10/13)見学者66人に対応した。
- ・講習会等の実施 若穂中学校1年生向け講習、町川田公民館芸能文化祭での「川田宿音頭」の作成披露を行った。
- ・現地研修会 善光寺街道・保福寺宿・会田宿・青柳宿見学会を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ガイド案内



若穂公民館学習講座・ぶらり川田宿 (H30.7.11)



篠ノ井地区人権教育推進協議会 (H30.10.13)

現地研修会



保福寺宿



会田宿

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
史跡松代城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業、国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 **史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、史跡の追加指定・公有地化を進め、保存整備を実施するもの**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国史跡松代城跡について地元・関係機関との協議や専門家会議を行い、**戌亥隅櫓台の階段・柵等の再整備に着手した。また、発掘調査及び現地見学会を開催し、城郭の価値や魅力に関する情報発信に努めた。**
 ○平成30年度実績:戌亥隅櫓台階段・柵の再整備(上段部分)、史跡松代城跡整備専門家会議(2回開催)、**発掘調査(約330㎡)、現地説明会の開催(1回)、松代地区との調整会議など**

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第6回整備専門家会議(H30.11.20)



櫓台階段等撤去工事状況

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度
	現在の状況	
県宝林正寺本堂保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成30年度

支援事業名 県指定等文化財補助金

計画に記載している内容 老朽化が著しい県宝林正寺本堂及び表門について、保存修理に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の歴史的景観の保全を図るため、真田家ゆかりの霊屋・墓所区域を構成する、林正寺本堂(第二代松代藩主真田信政の霊屋)および表門の修理に必要な費用の一部を助成した。

○平成30年度実績:表門屋根工事、建具工事、事業報告書刊行 ※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



林正寺本堂



林正寺表門



林正寺本堂内部



林正寺本堂天井絵

評価軸③-31
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
大室古墳群アクセス道路整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
大室古墳群の保存活動は、史跡整備されたエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、周辺の歴史文化資産を含めた保存を図っていく局面を迎えている。こうした新たな保存活動及び利活用の促進を図る上で、**国道403号線から国史跡大室古墳群までのアクセス道路整備により誰もが訪れやすいようにするとともに、周辺の歴史文化資産を活かす道路として整備を進める。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

概略設計による基本ルート案をもとに、**大室古墳群アクセス道路整備対策委員会(地元)と協議を行うとともに、地権者等との意見交換のための懇話会等を開催し、事業着手に向けた準備作業を進めた。**

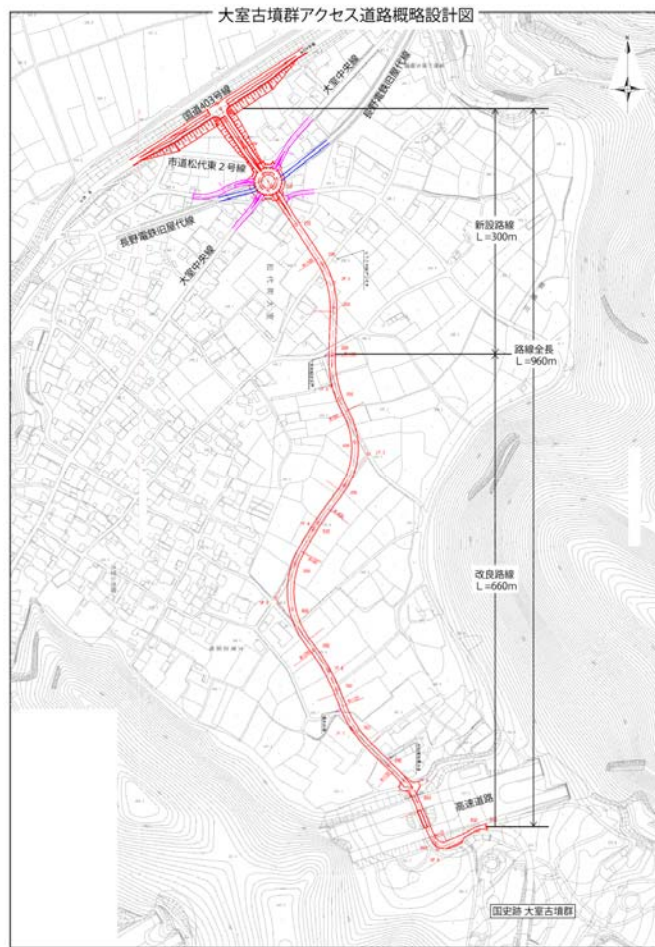
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

事業着手にあたり必要となる**地権者等の事前同意の確認に期間を要しており、引き続き協議調整を進める。**

状況を示す写真や資料等



大室古墳群アクセス道路概略設計図

評価軸③-32
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
毎年5月開催の鬼無里神社祭礼における屋台巡行は天候不良のため実施されなかったが、定期的に屋台展示の説明ツアーを実施し、広報・HP内で周知した。 また、前年度の企画展実施を引き継ぎ、ふるさと資料館が収蔵する明治大正期の古写真を展示して屋台を残してきた鬼無里地区の歴史についての情報発信も行った。その結果、入館者数が前年度2,479人に対し3,556人と大幅に増えた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



鬼無里ふるさと資料館ホームページ



広報ながのにおける周知

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白髭神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鬼無里観光振興会により、ツイッターで鬼無里神社の祭礼(5月3日)、白髭神社の祭礼(5月3日)開催における情報発信を行い、地元住民をはじめ多くの参加者で賑わった。また、(公財)ながの観光コンベンションビューローにより平成25年度から実施している地域の文化財等を活用した体験型ツアーが今年度も企画・実施され、市内外から多くの参加者が集まった。

○平成30年度実績:ダムを巡る旅(裾花ダム・鬼無里ふるさと資料館見学等)(10月17～22日) 参加者延べ106名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鬼無里神社 春の例大祭(H30.5.3)



白髭神社 春の例大祭(H30.5.3)

鬼無里観光振興会 @kinasatiku - 4月25日

5月連休中、鬼無里地域では春祭りがいくつも行われます。鬼無里の信号を右折すると目の前に見える『鬼無里神社』では、5月3日(木・祝)が祭礼日。この日は特別に江戸時代末期製の祭屋台が通りを巡ります。出発は午後1時30分・鬼無里公民館から。飛び入りで曳き手に参加できますよ！

👍 1 🔄 4 ❤️ 5

鬼無里観光振興会ツイッターによる祭礼の周知

紅葉の裾花溪谷と
ダムを巡る旅

「ようこそ歴史と文化の山里 鬼無里へ」

人間のダムカードがもらえます！

10/17-22(土日祝)

所要時間 9時00分

料金 20名様 10名様

参加費 5,000円(大人・子ども別)

026-223-6050 026-226-5626

ダムを巡る旅
体験参加型ツアーのリーフレット

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、**文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・松代地区等において、登録文化財推進のための建物調査を実施。
- ・松代地区の松代城跡、旧文武学校、大室古墳群において、史跡整備に伴う調査を実施。
- ・新たな文化財指定: 県指定有形民俗文化財1件「小正月関係資料コレクション」、登録有形文化財2箇所4件(「熊野出速雄神社摂社侍従大神社拝殿・隋神門」、「典厩寺閻魔堂・山門」)。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



熊野出速雄神社摂社侍従大神社拝殿・隋神門
(平成30年11月2日告示)



典厩寺閻魔堂・山門(平成30年11月2日告示)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

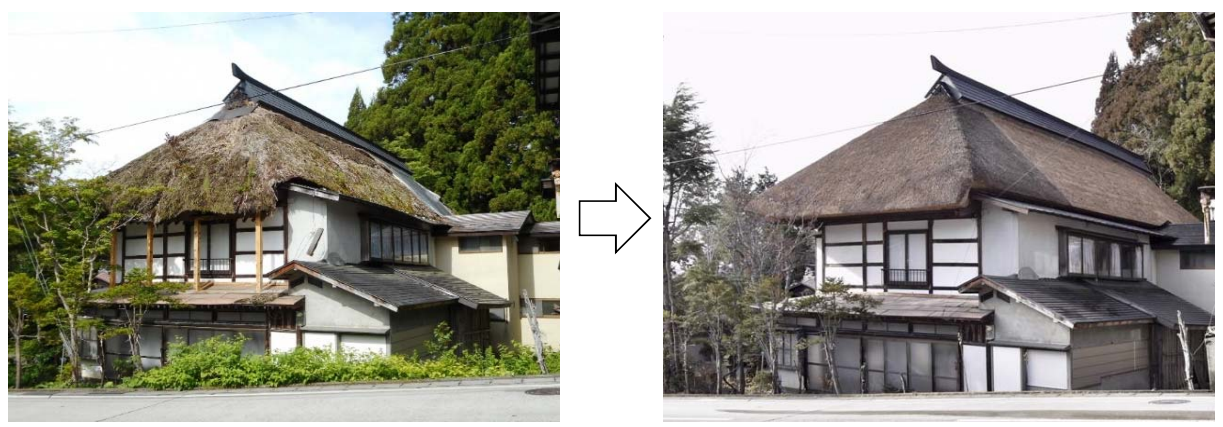
下記の指定文化財の建造物・記念物等について、文化庁等の指導の下、計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。

- 指定文化財の保存整備事業 4件
 - ・国指定3件: 史跡旧文武学校保存整備、史跡松代城跡保存整備、史跡大室古墳群保存整備
 - ・県指定1件: 県指定史跡牧之島城跡橋修理
- 指定文化財の保存修理助成事業 3件
 - ・国指定: 国宝善光寺本堂防災設備工事助成
 - ・県指定: 県宝大英寺保存修理工事助成、県宝林正寺保存修理工事助成
- 重要伝統的建造物群保存地区(戸隠地区)の保存修理助成事業 4件

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



修理前 修理後
 重要伝統的建造物群保存地区(戸隠地区)における建造物修理状況



旧文武学校の保存修理状況

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の防災に関する取り組みについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 定期的に文化財パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財パトロールの実施
 - ・国・県指定文化財:年1回(パトロール員3名/国指定38件、県指定等55件)
 - ・市指定文化財:年1回(パトロール員26名/70件)※文化財保護協会と連携
- 消防訓練の実施
 - ・善光寺・忠恩寺・蓮台寺など(文化財防火デー、H31.1.26)
- 所有者管理者への防災対策の注意喚起
 - ・所有者管理者研修会の開催(H30.11.7)
 - ・文化庁調査官による防災設備の現地指導(H30.12.4)
- 戸隠重要伝統的建造物群の防災計画策定のための調査実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



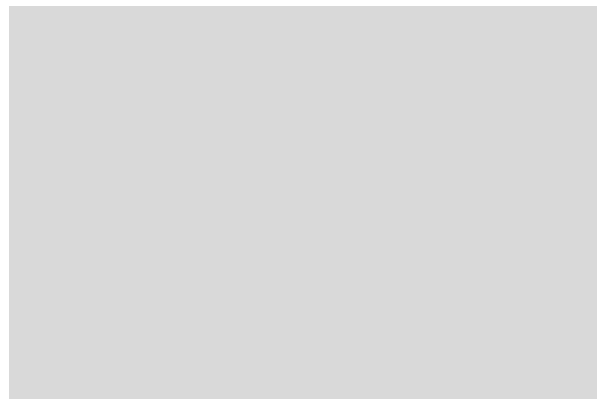
文化財パトロールの様子



所有者管理者研修会(H30.11.7)



文化庁調査官による国宝・重要文化財(建造物)の防災設備現地指導(H30.12.4)



文化財防火デー(善光寺本堂 H31.1.26)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財の周辺環境の整備について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。

〈善光寺戸隠地区〉
 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。

〈松代・若穂川田地区〉
 ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。

〈鬼無里地区〉
 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図るよう、善光寺周辺地区の電線類地中化に係る整備計画書を作成した。(評価軸③-6)
 また、鬼無里地区内の文化財を活用した体験型ツアー(評価軸③-33)を(公財)ながの観光コンベンションビューローにより開催し、歴史的景観に関する住民意識の向上が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



善光寺周辺地区電線類地中化に関する整備計画書位置図



ダムを巡る旅
鬼無里地区体験参加型
ツアーリーフレット

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存及び活用の普及、啓発について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 **文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。**

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠地区では、中社地区で耐震性貯水槽設置工事の現場見学会(評価軸③-14)が行われ、歴史的建造物の防災対策の重要性が共有された。
 松代地区では、国史跡松代城跡の発掘調査(評価軸③-29)の市民向け現地説明会が開催されたほか、「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」などの各種団体主催によるまち歩き・見学会、勉強会などが開催された。(評価軸③-26)
 鬼無里地区では、鬼無里神社祭礼時の屋台巡行(評価軸③-32)や、同神社の屋台修理に係るコーディネーター派遣(評価軸③-2)、(公財)ながの観光コンベンションビューロー主催の鬼無里ふるさと資料館見学を組み込んだ体験型ツアー(評価軸③-33)が実施された。

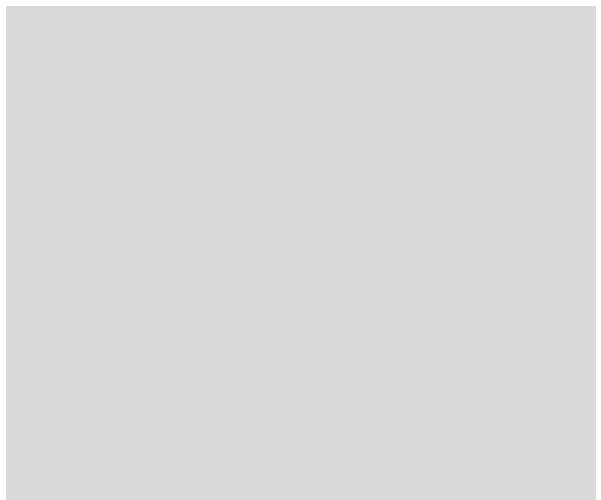
進捗状況 ※計画年次との対応 **実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)**

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



国史跡松代城跡の発掘調査の市民向け現地説明会(H30.11.23)



鬼無里神社の屋台修理に関するコーディネーター派遣事業
(H31.●●●)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	平成30年度
松代を発信あんずまつり 10年目の春	平成30年4月4日	信濃毎日新聞
松代の蚕糸業発信模索 群馬富岡製糸場と連携の動き	平成30年4月13日	信濃毎日新聞
戸隠神社中社御神木調査	平成30年4月14日	信濃毎日新聞
旧横田家住宅保存整備へ 松代の重文武家屋敷2年間は全面閉鎖	平成30年4月17日	信濃毎日新聞
戸隠古道 季節の景色歩いて楽しむ	平成30年4月21日	長野市民新聞
重伝建の活用法聞く 戸隠まちづくり協が勉強会	平成30年4月24日	長野市民新聞
鬼無里神社春祭り 屋台巡行	平成30年5月3日	長野市民新聞
長野で獅子舞フェス 73団体参加	平成30年5月4日	信濃毎日新聞
戸隠神社奥社の杉で木札 古道大ウオーク参加者に配布	平成30年5月9日	信濃毎日新聞
生かせ空き物件 松代の古民家や店舗商議所が初の見学会	平成30年5月18日	信濃毎日新聞
展示屋台職員が解説 鬼無里ふるさと資料館ガイドツアー始まる	平成30年5月19日	長野市民新聞
93年ぶり新田町の屋台新調 7月の長野祇園祭で巡行	平成30年6月2日	週刊長野
11月に全国町並みゼミ 実行委概要決める	平成30年6月2日	長野市民新聞
長野市の城山公園再整備 基本構想検討に着手	平成30年6月5日	長野市民新聞
セントラルスクエア 公園に整備	平成30年6月9日	長野市民新聞
城跡と合わせ考えて 旧松代駅舎の保存活用講座	平成30年6月16日	長野市民新聞
フットパス構築通じ関係人口増を 鬼無里地区で国のモデル事業	平成30年6月20日	信濃毎日新聞
表参道みこし威勢よく 善光寺表参道夏祭り	平成30年7月2日	信濃毎日新聞
戸隠の杉並木生育に問題 保存計画へ反映	平成30年7月4日	信濃毎日新聞
屋台巡行活気呼ぶ ながの祇園祭に県立大生80人参加	平成30年7月10日	信濃毎日新聞
松代中生まち歩き 町内の歴史文化学ぶ	平成30年7月10日	長野市民新聞
戸隠中社で柱松神事	平成30年7月12日	信濃毎日新聞
松代で祇園祭 勢獅子やみこ舞奉納	平成30年7月12日	長野市民新聞
ホーム跡に広場新たな交流拠点 旧長野電鉄屋代線の信濃川田駅	平成30年7月14日	信濃毎日新聞
戸隠中社の五斎神社かやぶき屋根を後世へ	平成30年8月18日	週刊長野
歴まちカード配布 今日から市役所内で	平成30年8月23日	長野市民新聞
松代の水路どう保全 シンポで講演や討議	平成30年9月8日	長野市民新聞
鬼無里のフットパス白鬘神社など巡る	平成30年9月18日	長野市民新聞
松代の泉水現状調査 保全へまず水路確認	平成30年10月23日	長野市民新聞
松代の景観賞に3件 市支所で表彰式	平成30年10月27日	長野市民新聞
伝統的な屋根を後世に	平成30年11月3日	長野市民新聞
町並みの価値や保存考える 松代で大会開幕	平成30年11月17日	信濃毎日新聞
町並み保存県ネット発足へ 長野・南木曾・小諸などの団体	平成30年11月19日	信濃毎日新聞
善光寺表参道光のぬくもり 初のイルミネーション	平成30年11月25日	信濃毎日新聞
城下町松代つなぐ道は 上	平成30年12月14日	信濃毎日新聞
城下町松代つなぐ道は 下	平成30年12月15日	信濃毎日新聞
うっとり善光寺包む光のハス	平成30年12月16日	信濃毎日新聞
戸隠の白金家が再開 重伝建内で耐震化	平成30年12月20日	長野市民新聞
善光寺参道イルミ再び 初のイベント好評で2月11日まで点灯に	平成30年12月29日	信濃毎日新聞

城山公園再整備事業、善光寺表参道地域交流拠点整備事業、戸隠地域建造物修理修景助成事業、史跡松代城跡保存整備事業、鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業など、本計画に掲げた事業の記事が多く掲載されたほか、新たに実施した「歴まちカード」配布事業や「全国町並みゼミ」についての報道がなされた結果、歴史まちづくりの取り組みが市民に十分に周知され、歴史的風致の向上につながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鬼無里神社春祭り
きょう屋台巡行の中心部にある鬼無里神社で、無病息災と五穀豊穡(ほうじょう)を祈る春例大祭が開かれた。江戸時代後期の約1000坪を展覧する屋台巡行の準備をする。

長野市民新聞 H30.5.3 記事
※転載許可



11月に「全国町並みゼミ」
実行委 概要決める
松代で善光寺講壇で分科会

長野市民新聞 H30.6.2 記事
※転載許可



ながの人模様
波辺拓也さん
伝統的な屋根を後世に

長野市民新聞 H30.11.3 記事
※転載許可



「歴まちカード」配布
きょうから市役所片内で

長野市民新聞 H30.8.23 記事
※転載許可



善光寺本堂に光の絵
電飾の初イベント始まる

長野市民新聞 H30.12.18 記事
※転載許可

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

善光寺仁王門前の歩行者通行量の増加

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成25年度以降の善光寺仁王門前歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施)結果から、雨天が影響したと考えられる平成29年度の一時的な減少を除き、増加傾向にあった歩行者通行量がほぼ一定の状態を保っている。この要因の一つとして、善光寺周辺地域道路美装化事業(評価軸③-5)など、歴史的風致維持向上を目的とした事業が寄与していると考えられる。

○平成30年度実績

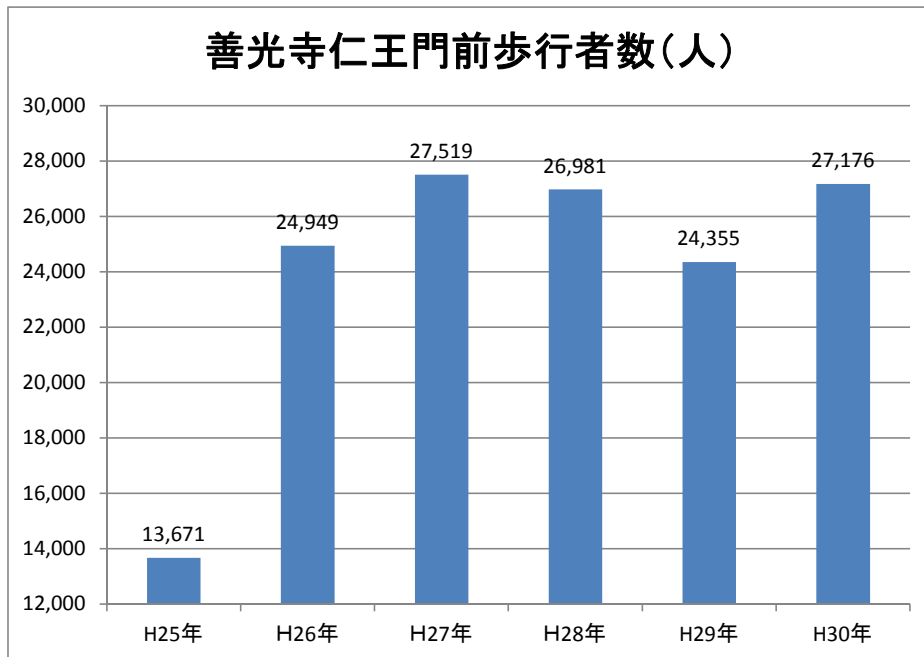
善光寺仁王門前の歩行者通行量調査(毎年10月第3日曜日実施) 歩行者人数:27,176人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



善光寺仁王門前歩行者通行量調査(H25~H30)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度 平成30年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:長野市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時:平成31年2月19日(火)午後3時から午後5時まで

(コメントの概要)

(今後の対応方針)